

092 明治時代 大久保政権



大久保利通

1873.9 岩倉遣欧使節団帰国

1873.10 **明治六年の政変** 薩長 v s 薩長以外

西郷(薩)、板垣(土)、後藤象二郎(土)

江藤(肥)、副島種臣(肥)ら政府を去る

→土佐肥前を追い出し薩長藩閥政府が確立

太政大臣… 三條実美 右大臣… 岩倉具視

1873.11 **内務省** 新設

初代 **内務卿** に大久保利通。

大久保政権
現実的な大久保利通は、将来は立憲君主制が理想だけど、国会や憲法はすぐにはできないので、当面は **内務省** を通じた官僚専制政治（**有司専制**）を行いました。欧米に負けない国づくりのために、急速な **殖産興業** を推進しました。もはや不要になった土族の特権は廃止、土族の反乱は断固として鎮圧しました。生活に困窮する土族のための屯田兵制度などの **土族授産** は十分できませんでした。西郷隆盛は土族を困窮させた張本人です（廃藩置県、四民平等、徴兵令を施行）。でも土族を愛し、土族に活躍の場を模索したりしましたが結局土族とともに滅ぶ道を選びました

1873.12 **秩禄奉還の法**

大名から俸禄を支給されていた武士は、維新後は土族となり、明治政府から秩禄を米で受け取っていました。明治政府の支出の30%を占める重荷でした。そこで希望者に秩禄支給を止める代わりに一時金を支給しました。

1874.1 **民選議院設立建白書** → **左院**

左院は公論の場です。提出者は板垣退助、江藤新平、副島種臣ら薩長以外の8人で、**愛国公党** を結成して提出です。
政権ノ帰スル所ヲ察スルニ、…上帝室に在ズ、
下人民に在ズ、而して独り有司ニ帰ス

英人 **ブラッック** 『日新真事誌』に掲載

土族の反乱を断固鎮圧

1874.2 **佐賀の乱** 生活に困窮する土族による最初の反乱です。

→ **江藤新平** がリーダーに担がれて反乱、処刑。

1874.4 **立志社** 設立。 **片岡健吉**

土族救済と反政府運動を目的に土佐で結成しました。

1874.5 **台湾出兵** 不平土族に一時的に活躍させてガス抜きです。

→ **木戸孝允**、抗議して政府を去る。

1874.6 **屯田兵** 制度。 **土族授産** の一つ

1875.1 **大阪会議**

① **木戸孝允**、**板垣退助** を政府復帰。

② **漸次立憲政体樹立の詔** 発布約束。

③ **元老院**、**大審院** の新設で三権分立

④ 地方の声を集める **地方官会議** の設置。

左院→元老院→帝国議会と発展します。さ・げ・て（下げて）

1875.1 **愛国社** 設立(大阪)

土佐の立志社が中心になって各地方の政社を結集してできた最初の全国的な政治政党を立ち上げました。

1875.12 **新聞紙条例** **議谤律**

大阪会議でいろいろ認めてあげたので、その代わりにいやなこと（1875）を書く新聞弾圧の法令を出しました。

1875.9 **江華島事件** 軍艦雲揚

開国を拒む朝鮮と、無理やりでも開国させようという日本との間で起こった軍事衝突事件です。西郷「日本の恥ではないか」

1876.2 **日朝修好条規** 不平等条約

朝鮮をむりやり開国させ、朝鮮に不利な不平等条約を結びました。日本は無関税となり朝鮮に輸出し放題になりました

1876.2 **地租改正反対一揆が激化**

三重県 の伊勢暴動、**茨城県** の真壁騒動

→ **地租** を **3%** から **2.5%** に引下げ

1876.3 **廃刀令** 土族の精神的特権を奪いました。

1876.8 **金禄公債証書** 秩禄を受取るという土族の経済的特権を奪いました。

土族にわずかな金禄公債を支給する代わりに秩禄支給を全廃しました。収入がなくなった土族授産は不十分でした

→秩禄廃止を **秩禄処分** といいます。

→ **土族の商法** “多くは失敗に終わる

土族の反乱

1876.10 **敬神党の乱** (熊本)

1876.10 **秋月の乱** (福岡)

1876.10 **萩の乱** (山口)

1877.2 **西南戦争** (鹿児島)

殖産興業(大久保の内務省主導)

1872	富岡製糸場 (官営模範工場)
1876	札幌農学校
1877	東京大学 ←幕府の蕃書調所
1877	三田育種場
1877	第1回内国勸業博覧会 (上野公園)
1878	安積疏水 (福島県郡山)

1877.5 木戸孝允病死。

1877.9 西南戦争終結(西郷自刃)

1878.5 紀尾井坂の変で大久保暗殺

新しい内務卿は **伊藤博文**

ええと、佐賀の景色は
秋の萩が最高

1874.2 江藤新平 佐賀の乱
1876.10 敬神党の乱(熊本)
1876.10 秋月の乱(福岡)
1876.10 萩の乱(長州)
1877.2 西郷隆盛の西南戦争

議員のサインを片手に大阪愛で前進

1874.1 民選議院設立建白書を左院に提出
1874.4 立志社 片岡健吉
1875.1 大阪会議
1875.1 愛国社
1875.1 漸次立憲政体樹立の詔
1875.12 新聞紙条例・議谤律